

「みどり」を通じて

地域貢献を

佐賀県造園建設業協会会長 村山 優



新年あけましておめでとございます。

県民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、当協会の事業運営

につきまして、格別のご協力、ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年も、例年に引き続き、日本各地において地震や台風により甚大な被害がもたらされました。特に、8月には九州北部に大雨特別警報が発令され、佐賀、福岡両県では観測史上最大の雨量が記録されました。

佐賀県では武雄市や大町町を中心に甚大な被害をもたらしました。心からお見舞いを申し上げます。

このような中、私も佐賀県造園建設業協会は、地震、風水害その他災害が発生する場合において、佐賀県が行う応急対策等に対する応援協力及び緑化啓発活動等について、その運営を適正かつ円滑に運営するため、佐賀県と一昨年5月に「災害時の応援協力及び緑化啓発活動等に関する協定」を締結いたしました。

この協定により、私も協会員は、県から要請を受け公共施設等の倒木等の障害物の撤去や応急復旧、保護活動等をおこない、県政に寄与したいと思っております。また、今年度は、県の補助を受け、県内の各地域（今年度は、佐賀、鳥栖、唐津地域）に

において、行政・地域ボランティア団体と一体となり、緑化啓発活動を行うこととしています。

また、県では、令和5年に第78回国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催が予定されています。この大会の開催を通じて県内のスポーツの力を生かし、新たな佐賀県の未来を切り開くため、私も協会も緑化啓発活動を通じて大会の成功及び県民の緑化意識の向上に取り組んでまいります。

さらに、佐賀県の魅力をなお一層へ全国に発信するために、全国都市緑化フェアの佐賀県での初開催を強く要望しているところでもあります。ご承知の通り全国都市緑化フェアは、花や緑に関する国内最大のイベントであ

り、「緑のまちづくり推進」市民の緑化意識の向上「都市緑化に関する知識の普及」等を図ることにより、緑豊かな潤いのある各都市で開催されています。

そのため、本協会は、今まで以上に、県民の緑化意識の向上に努め、佐賀県での全国都市緑化フェアの実現に県民の理解を得るよう努力してまいります。

最後になりましたが、私たち協会・造園業界は、今後とも「みどり」を通じて、地域に貢献してまいりますので、皆様のご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

皆様にとりまして、今年がよい良い年になりますように、ご祈念申し上げます。

環境整備事業の

推進に期待

佐賀県造園協同組合理事長 小林 市造



年頭に当たりの新年のご挨拶を申し上げます。今年こそはと言う願いも空しく、昨年は県内においても、全国でも大規模な災害が発生しました。被災された方々にお見舞い申し上げますと共に、今なお復旧途中の方々へ早期の復旧をお祈りいたしま

す。

当組合では、例年通りではあります。組合員の技術、技能の取得、レベルアップ、造園資材の提供、若年者への造園魅力の発信等をメインの事業として活動致します。毎年ものづくりマイスターによる小、中学校へ

出前の技術指導を行っています。が、昨年も十一月に多量の産業技術学院で開催されました技能フェスタの、ものづくり体験では「コケ玉づくり」が大変な人気で、用意していた材料が途中でなくなるほどでした。この様

に、私たちの緑を使ったものづくりは、やすらぎを求める現代社会では、人々の心の癒しに繋がる大切な仕事だと再認識したところです。

昨年は改元に伴い、天皇陛下即位の関連行事が、数多く行われました。そして、「造園連」と言う造園の全国組織での主催

ではあります。二月に皇室と関連の深い「伊勢神宮」に於いて、「第四十四回造園感謝祭」が開催されます。今回九州プロ

の参加で盛り上げたいと思います。

かつては、佐賀県単独で当番した時は、総力を挙げて取り組まれました。

年が変わり、国スポ開催への年に近くなり、インフラ整備もしだいに動きが目立つようになってきました。これからは環境整備も徐々に進むものと期待します。

これから季節は徐々に春に向かって進み、しばらくすると一日と身も心も暖かく穏やかになります。今年一年が幸多いことを願い念頭のご挨拶とします。